

令和 7 年度「仙台市標準学力検査」及び「仙台市生活・学習状況調査」実施に係る Q & A
【企画提案書・仕様書について】

Q 1	見積額は <u>令和 6 年度</u> の児童生徒数を基にした概数でよいのか。 仕様書の児童生徒数を参照してください。
Q 2	参考見積書の積算例に一人あたりの単価をどのように示せばよいのか。 参考見積書には、経費の総額から <u>一人一検査・調査あたりの単価を小数第 1 位まで</u> 示してください（総額 ÷ 総処理件数）。
Q 3	（様式 1 の内容）課題や問題（事故）とは、どのようなものを記載するのか。 コールセンター等で対応しきれない、個人情報漏えい、解答用紙の紛失などにより対策本部等を設置しなければならないような事案について記載してください。
Q 4	（様式 1 の別添）への社名は記載するのか。 企画提案書と同様に社名は記載しないこととし、受付番号に統一してください。
Q 5	（様式 3 の内容）作成問題の予備実施のことについて、検証等を記載することとあるが、今回作成した問題については、必ず試さないといけないのか。 実施したケースがあれば、記載してください。
Q 6	（様式 3 の別添）例題資料の大きさはどのくらいか。 A 4 サイズで作成してください。
Q 7	新規に提案事項がある場合はどのように提出すればよいのか。 A 4 サイズ（様式自由）で作成し、提案書の様式 6 の後につけてください。
Q 8	仕様書 5（5）の中 1 英語はどのような問題を想定しているか。 「聞くこと」「読むこと」「書くこと」を問う問題を想定しています。小学校外国語科の学習指導要領には、「読むこと」「書くこと」に関して、「音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる」、「語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写す」などと示されておることから、音声とセット、つまり、リスニングテストによる 20 分程度の検査を考えています。領域のうち、「話すこと」に関して、出題範囲外としています。また、新しい学習指導要領で示された育成すべき資質・能力が十分に身に付いているかの確認がねらいであり、中 1 英語に関しては「活用する力」の問題も範囲外としています。
Q 9	仕様書 6「仙台市標準学力検査」「仙台市生活・学習状況調査」（4）にはシステムのプログラム開発等も含まれるのか。 含まれます。
Q 10	仕様書 6「仙台市標準学力検査」「仙台市生活・学習状況調査」（5）の「その他」の資料として、現時点で決定しているものはあるか。 「仙台市標準学力検査」では、以下の提供をお願いいたします。 ・各校の学年別教科ごとの「内容別」の目標実現状況（市教委・各校）。 ・各校の学年別教科ごとの基礎的知識における目標実現状況の経年変化*（市教委・各校）。 ・各校の目標実現状況一覧（市教委）。 「仙台市生活・学習状況調査」では、以下の提供をお願いいたします。 ・各校の学年別質問ごとの肯定的回答をした割合（市教委・各校）。 その他、追加で資料提供をお願いする場合があります。
Q 11	仕様書 7 その他（3）「各学校の求めに応じて即対応」とは。 昨年度までの仕様書では、「営業拠点が市内にあること」としていましたが、実施に際しトラブルに即対応してもらうことで、その要件をなくしています。 「学力検査」に関しては実施日が決まっているので、トラブルが発生したら、児童生徒への影響を極力少なくするよう解決してください。「生活・学習状況調査」に関しては、実施日が指定されているわけではありませんが、学校の予定もあるので、トラブルが発生したら 60 分以内には何らかの方向性を示せるよう尽力してください。

【実施用品の配送・回収等について】

Q 1	実施用品を受領した報告を学校に求めることは必要か。
	学校が数量等を確認するためにも実施用品は午前中に学校に到着するようにし、FAX等で数量等の過不足について報告をさせてください。なお、不足等が発生した場合、配送日の翌日には対応してください。
Q 2	説明書（手引き）は「仙台市標準学力検査」と「仙台市生活・学習状況調査」は別冊の方が良いのか。
	「仙台市生活・学習状況調査」はC B Tでの実施となることから、手引きは別冊としてください。
Q 3	説明書（手引き）はどれだけ用意するのか。
	手引きはクラス数＋5部、検査監督要領（小学校用・中学校用）は学年数×教科数×クラス数＋予備1部用意してください。
Q 4	聞き取りテスト用CDは何枚用意するのか。
	学級数＋予備1枚用意してください。
Q 5	事情により下学年の問題を必要としている児童生徒がいた場合、問題等はどれだけ用意するのか。
	事前に対応しなければならない児童生徒数を把握することはいたしません。学校は予備問題で対応します。実施用品に含めて各学校へ（クラス数＋5部）送付してください。また、中学校については、小学校の各問題用紙、解答用紙（各5部）も送付してください。ただし、不足する場合、受領時の報告書に記載できるようにしてください。
Q 6	検査実施前に得られる学校のデータは何か。
	学校名、住所、電話番号、学級数、児童生徒数です（児童生徒氏名は不可）。学校名、住所、電話番号は仙台市教育委員会HPでも確認できます。
Q 7	解答用紙を回収する際に児童生徒名簿も一緒に送られるのか。
	用紙と、必要であれば電子データを一緒に送ります。その際、電子データ送付用CDは問題冊子等と一緒に学校へ配送し、CD表面に学校名を記入できるようにしてください。
Q 8	解答用紙を取りまとめる袋などは必要か。
	学年ごとに小分けする小袋を用意してください。児童生徒数の多い学校には複数枚用意してください。また、集計には含めないが、個人成績票だけが必要な児童生徒（特別支援学級在籍等）の小袋も1枚用意してください。
Q 9	学校から回収した解答用紙の枚数と学校からの報告枚数が異なる場合、学校へは問い合わせる必要があるのか。
	過不足いずれの場合でも、必ず学校に問い合わせてください。同時に仙台市教育委員会学びの連携推進室担当者にも連絡してください。
Q 10	集計結果等データは、学校・市教委へどのような形式で提出するのか。
	標準学力検査の結果は紙媒体と電子データの両方、生活・学習状況調査の結果は電子データです。
Q 11	個別の事情による実施期間（ <u>4月15日～21日</u> ）の対応（回収）は、どのようになるのか。
	対応が必要な学校はコールセンター等で受け付けることとし、 <u>回収日を22日</u> としてください。当該児童生徒の結果は全体集計には含めないこととし、個人票のみ作成してください。

【標準学力検査問題について】

Q 1	問題用紙等への氏名記入は必要か。
	問題用紙には年、組、番号の欄を設けてください。解答用紙には、学校名、年、組、番号、氏名の欄を設けてください。
Q 2	問題内容に関して、各社標準版として使用している問題内容は見本等で流布している可能性があるが、それでもよいのか。
	教科によっては、過去の問題と類似した内容になることも考えられますが、貴社の作成問題で過去3年間、市内の学校において実施されていないものとします。
Q 3	小学校4年生、5年生の社会では、宮城県や仙台市などの地域の問題を入れた方がよいのか。
	地域教材を盛り込むことが望ましいですが、必須とはいたしません。現在使用している教科書に準拠していればかまいません。
Q 4	学校で選択できる問題がある場合、転入生等への個別対応は必要なのか。
	転入生等において、前年度に学習した内容が異なる場合も予想されます。個別対応をしてください。
Q 5	検査問題の内容は「前年度の学習内容」とあるが、中学校1年生の社会科の場合、6年生の内容だけではなく、他学年の内容も盛り込んで、小学校社会科としての評価を得るということでもよいのか。
	学年、教科ごとに検証を行うので、あくまでも前年度の内容で作成してください。
Q 6	小学校社会における選択履修の問題は全てを作成するのか。
	必要であれば、事前に学校の履修状況を伝えますので、学校の履修状況に合わせてください。 <u>令和6年度までは、学校選択問題として実施しておりました。</u>
Q 7	問題作成にあたり、委員会の事前確認を受けることとはどのようなことか。
	よりよい問題にしていくために問題を確認し、協議の上に決定しますので、 <u>1月初旬までに問題を提示</u> してください。内容により <u>問題の変更・修正や削除、達成目標の設定値の修正</u> を指示することもありますので、適切に対応してください。本検査の趣旨を理解したうえ、仕様書に則り適切な問題作成をお願いします。
Q 8	拡大文字や点字での問題は作成するのか。
	拡大文字、点字、ルビ等での問題作成の必要はありません。
Q 9	国語と英語における聞き取り問題は何年生で実施するのか。
	国語、英語とも該当する全ての学年で実施してください。
Q 10	作文の字数はいくらか。
	<u>検査時間、全体の問題数、発達段階等を考慮して設定</u> してください。
Q 11	各学年・各教科の問題数の指定はあるか。
	特に指定はしませんが、 <u>活用する力を問う設問の割合を30%程度としていることを含め、検査時間と発達段階を十分に考慮してください。</u> <u>また、問題文の字数も考慮していただくようお願いいたします。</u>
Q 12	検査後に学校や受託業者が問題冊子を回収するのか。
	結果分析や保護者から問題についての問い合わせがあるため、一定の期間学校で保管した後、児童生徒、保護者に返却します。
Q 13	問題を一般に公表するのか。
	問題の一部を掲載した、分析結果の概要を教育委員会HPで公表します。ただし、長文等における著作権等が発生する場合は協議の上、決定します。
Q 14	検査後に模範解答は必要なのか。
	学校においては個人成績票を夏休み前後に配付します。この際に配付できる模範解答を用意してください。

【生活・学習状況調査について】

Q 1	<p>生活・学習状況調査の質問数等はどれくらいか。</p> <p>令和6年度は小学校2年～4年用37問、小学校5年～中学3年用76問で調査をしており ました。令和7年度に向け、質問数は大きく変えないものの、質問内容は見直しをかける予 定です。また、実施の手引きの巻末に「生活・学習状況調査」質問のねらいを一覧にして記 載してください。</p>
Q 2	<p>生活・学習状況調査の集計はどこまで行うのか。</p> <p>市全体・各学校の学年・学級の傾向や、肯定的な回答をしている児童生徒の割合が分かるよ うなグラフや表を作成してください。学力検査の結果と併せて電子データを送付してくださ い。</p>
Q 3	<p>実施期間中に、学校が実施日・時間を設定して行うとは具体的にどうということか。</p> <p>仕様書にある実施期間の中で、各学校が実施日を決めることを想定しています。各学校のネ ット環境についても考慮し、実施時間を学年・学級ごと分散することも可とします。また、 実施期間内であれば、学校が複数日にわたって、学年・学級を分散させて実施することも想 定しています。</p>
Q 4	<p>「仙台市生活・学習状況調査」の結果提供が①②と分かれていることについて</p> <p>①は結果集計を確認する。②は①で確認した結果集計の電子データを提供してほしいと考え ています。各社提供できるシステムが様々だと考え、仕様書のとおり記載しました。②の電 子データの提供を①の期日まで行えるのであればそのようにしてください。また、その提供 の方法についても各社の可能な方法で構いません。</p> <p>仙台市として確認したい点は、各社の集計作業が自社サーバーなのか、クラウド上なのか等、 個人情報に関連するリスクについてです。個人情報に関して、リスクは可能な限り低い方法 でお願いしたいと考えています。</p> <p>その処理の方法や結果提供等については企画提案書のヒアリングで詳しく説明願います。</p>
Q 5	<p>実施の際の個人情報の入力はどこまで可能か。</p> <p>必要最小限でお願いしたいと考えています。各社のシステムによって違ってくると思います ので、企画提案書のヒアリングで詳しく説明願います。</p>
Q 6	<p>企画提案書のヒアリングの際、CBT 調査の部分に関しては、実際の画面を提示しながら説明 することは可能か。</p> <p>可能です。使用するPCは各自お持ちください。当日、モニターを準備します。(HDMI ケー ブルを使って接続します。)</p>
Q 7	<p>仙台市の児童生徒に配備されている一人一台端末に関して知りたい。</p> <p>端末のメーカー：NEC 端末の機種名（型番）：Chromebook NEC Y2 と Y3 OS の種類：Chrome OS ブラウザ：Google Chrome その他：学習 e ポータルは「学びポケット」を利用 ※調査実施前に、同等の環境での動作確認の実証をお願いします。</p>

【個人情報について】

Q 1	<p>実地調査はいつ行うのか。</p> <p>庁舎外作業におけるセキュリティ対策について、<u>契約前に作業場所等（集荷場や採点場、データ管理等）の確認</u>を行います。最優秀企画提案書を特定したのち、すぐに実地調査を行います。また、採点や集計が行われている期間にも複数回、行います。</p> <p><u>ホームページ：ホーム＞市政情報＞情報公開・情報化・情報セキュリティ＞情報セキュリティ＞仙台市の情報セキュリティ＞情報システム処理に伴う個人情報に係る外部委託に関するガイドライン本文＞5. 外部委託業務実施に伴う手続き（1）</u></p>
	<p>個人情報にかかわる解答用紙の返送（回収）などは、通常の宅配便で差し支えないのか。</p> <p>「情報システム処理に伴う個人情報に係る外部委託に関するガイドライン」に基づき、本市では、通常の宅配便を利用することはできません。個人情報専用輸送システムを利用していただきます。</p>
Q 3	<p>個人情報セキュリティ研修は受講しなければならないのか。</p> <p>個人情報に係る業務を受託する企業・事業所の個人情報保護責任者には、仙台市が行うセキュリティ研修の受講が義務付けられています。業務委託契約締結前には研修を受講してもらう必要があります。「情報システム処理に伴う個人情報に係る外部委託に関するガイドライン本文及び概要」を必ず確認の上、研修受講に該当する場合は、対応願います。</p> <p><u>ホームページ：ホーム＞市政情報＞情報公開・情報化・情報セキュリティ＞情報セキュリティ＞仙台市の情報セキュリティ＞情報システム処理に伴う個人情報に係る外部委託に関するガイドライン</u></p> <p>研修は<u>10月10日（木）13：30～、11月26日（火）13：30～</u>予定されています。その他の開講日については市HPを確認ください。</p> <p>担当：まちづくり政策局行政デジタル推進課</p> <p><u>ホームページ：ホーム＞市政情報＞情報公開・情報化・情報セキュリティ＞情報セキュリティ＞仙台市の情報セキュリティ＞仙台市個人情報セキュリティ研修</u></p>
	<p>業務が完了する際に解答用紙等はどう処理すればよいか。</p> <p>溶解焼却等によって処理し、証明書を提出してください。</p>
Q 5	<p>業務が完了する際に電子データ等はどう処理すればよいか。</p> <p>自社サーバーおよびクラウド上のデータのすべてを、行政情報の取扱いに関する特記仕様書に従って、厳正に消去等をしてください</p>

【その他】

Q 1	<p>仙台市競争入札参加者資格名簿への登録は必要か。</p> <p>申請時期等については市HPで案内していますので登録をお願いします。詳しくは、財政局契約課に問い合わせください。</p>